

みなさんこんにちは。

皆様こんにちは！周りの景色が色鮮やかな季節ですね。

さて、お気付きの方もいらっしゃるかと思いますが3~4月にかけてニューフェイスが揃いました！新しく若いメンバーが4人仲間入りをし、当院の平均年齢も若くなっていております…（笑）

初めは慣れなくて同じ失敗をしたなあ…と過去の自分を見ているような気がします。

そんな私も、歯科衛生士になりしんぷく歯科の一員になって今年で6年目に突入です。

まだまだ勉強しなければいけないこと。学びたいことが沢山あります。慢心することなく何事にも常に向上心とより良い緊張感を持って臨みたいです。

堅苦しい締めになってしまいましたが、歯っぴースマイル通信 春号 どうぞごゆっくりご覧下さいね☆



福丸

スタッフ紹介



川畑 知里

1月から午前中のパートで働かせて頂いております受付の川畑知里です。家族は、素敵な主人と5年生の息子、3年生の娘そしてジャンガリアンハムスターのハーブ(男の子)。家族の協力もあって楽しくお仕事をさせてもらっています。

歯医者には少し怖いというイメージがありませんか？不安もたくさんあると思います。どんな小さな心配事でも気軽にご相談ください。患者様のお気持ちをしっかり理解できる受付を目指し、日々努力致しますので今後とも宜しくお願いします。



佐藤 愛

はじめまして。2月からしんぷく歯科で働かせて頂いております受付秘書・助手の佐藤愛です。

歯科で働く事は初めてなので、戸惑う事もありますが、最高のスタッフと素敵な患者様に日々支えられて充実した毎日を過ごしています。趣味は、旅行したり、ドライブしたり、最近では家庭菜園に目覚め野菜やハーブを育てています。

気軽に話しかけて頂けると嬉しいです。これからも笑顔を大切に一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。



築瀬 恵里

3月からしんぷく歯科のスタッフの一員になりました築瀬恵里です。暖かくなってきましたね。皆さん新生活はいかがお過ごしでしょうか。歯科が初めての私も新一年生です。初めての事ばかりで緊張しますが、患者様と触れ合う機会が多いので毎日楽しく過ごしています。

未熟者な私ですが、皆さん宜しくお願いします。



西村 奈穂子

3月後半からしんぷく歯科で働いています西村です。不慣れですが皆さんの歯の健康のために頑張りたいと思いますのでどうぞ宜しくお願いします。

5月1日に自動車免許を取得したので、行動範囲が広がる事が嬉しいです。

笑顔で楽しくお話ができればいいなと思っているので、気軽に話しかけて下さいね。



羽生 維久美

皆さんこんにちは。4月からしんぷく歯科で歯科衛生士として働かせて頂けるようになりました。

羽生 維久美です。まだまだ技術不足ですが患者様とより良い関係になり治療をスムーズに進められるようにしていきたいです。

歯医者という場所が大好きになれるよう精一杯努めていきます。

顕微鏡歯科

～歯科用手術顕微鏡を用いた精密な歯科治療～

「以前治療をした箇所がうずくことがある」

「歯医者さんとはいえ、目で見ただけで的確な判断ができるのか不安」

「診療を受けても、むし歯などの見逃しがあるのではないかと心配」

むし歯や歯周病は、治療を受けても再発する可能性がある病気です。
また、治療が不十分だと、治療後の生活に支障が出ることもあるため、
「本当にちゃんと治ったの？」と、歯科治療に不安や不信感を持つ方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

歯科治療は非常に繊細な治療を行うのですが、暗く狭い口腔内では肉眼では見つらく、時には手探りな治療になってしまうこともあります。

そこで治療を行うにあたって、治療部位を明るく、拡大視野下におくことが必要になってきます。

そんな時に欠かせないのが『マイクロスコープ』です。

20倍以上にも拡大された視野で治療を行えるので、質の高い治療を行うには必要不可欠です。

脳外科（脳腫瘍の摘出手術）や眼科、耳鼻科で日常的に使用されているのは、テレビや書籍でご存知の方も多いと思いますが、実体顕微鏡が海外で歯科分野に導入されたのが、1990年代です。現在、特にアメリカでは、顕微鏡を使用しないと「できるはずの治療ができない」ということで、必需的になってきています。

しんぷく歯科では、より精密な治療をお求めの方のために、マイクロスコープ（歯科用顕微鏡）を導入した治療を行っています。



岡本先生ありがとう



しんぷく歯科に勤めてはや2年半、このたび卒業となりました。春から高知に行きます。

初めは新しい所で緊張の連続でありましたが、この医院のアットホームな雰囲気に助けられここまでやって来ることができました。患者さんともいろいろ馴染んできたところでの別れで寂しい限りですが、新天地で頑張ろうと思います。

患者様、スタッフの皆様、いままでどうもありがとうございました。

岡本 哲郎